

2012年4月3日(火)

報道関係各位

バイク王 バイクライフ研究所

『バイク王 バイクライフ研究所』レポート 001
～ライダーならではの回答が多数～
ライダーが選ぶ復刻して欲しいバイクは？
第1位は「スズキ GSX1100S カタナ」

オートバイライフの楽しさやオートバイ市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』(所在地:渋谷区広尾、所長:澤篤史)は、排気量51cc以上のバイク免許を保有している20代～50代の男性500名および20代～30代の女性100名の計600名を対象に、インターネットによる調査を2012年3月に実施しましたので、本日その結果を発表します。

【調査結果サマリー】

- 復刻して欲しいバイク第1位は「キリン」で話題の「スズキ GSX1100S カタナ」
- バイクに乗っていてよかったと思った瞬間「渋滞が回避できたとき」が第1位!
- ライダーが持つライダーのイメージ第1位「かっこいい」、第2位「自由人」
- バイクに乗りたいと思ったきっかけ第1位は、「行動範囲を広げるため」

【調査概要】

オートバイに関する意識調査

- ・調査方法 : インターネットアンケート
- ・調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社
- ・調査実施期間 : 2012年3月14日(水)～2012年3月16日(金)
- ・対象地域 : 全国
- ・対象者 : 排気量51cc以上のバイク免許を保有している
20代、30代、40代、50代の男性500名、
20代、30代の女性100名 計600名



スズキ GSX1100S カタナ
©「スズキ株式会社広報部提供」

※本リリースの調査結果を掲載される際は、必ず「バイク王 バイクライフ研究所調べ」とご明記ください。
※本リリースに記載していない調査結果もございます。詳細は下記 PR 事務局までお問い合わせください。
※URLのリンクは、本調査結果の公開先であります、下記いずれかを設定いただけますと幸いです。

- ・バイク王 バイクライフ研究所 Facebook ページ(<http://www.facebook.com/bikelifelab>)
- ・バイク王 バイクライフ研究所ホームページ(<http://www.ikco.co.jp/lab/>)

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■バイク王 バイクライフ研究所 PR 事務局(株式会社アンティル内)

担当: 堀井、乗鞍、清水

TEL 03-5572-6064/Email:i-shimizu@vectorinc.co.jp

東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 18F

バイク王 バイクライフ研究所

■復刻してほしいバイクモデルを教えてください。

復刻してほしいバイクモデルを教えてください。

1位	スズキGSX1100Sカタナ
2位	ホンダNSR250R
3位	カワサキZ1/Z2
4位	カワサキ500SS
4位	ホンダCBR400RR

6位	ヤマハRZ250/350
7位	ホンダクラブマン
8位	カワサキゼファー1100
8位	カワサキGPZ900R
10位	カワサキゼファー400/400x

3月23日~25日にかけて、「東京モーターサイクルショー2012」が開催され、新作バイクを含む様々なマシンが会場を沸かせました。しかし、ライダーの中では未だに根強い人気を誇るバイクが存在することも事実です。

今回の調査で、ライダーが選ぶ「復刻してほしいバイクモデル」の第1位に選ばれたのは、現在公開中の映画「キリン」で、主人公キリンが愛用している「スズキGSX1100Sカタナ」でした。僅差で惜しくも第2位になったのは「ホンダNSR250R」で、第3位は「カワサキZ1/Z2」でした。

第10位までのランキングの中に、カワサキ製のバイクが5台も選ばれています。第1位は逃してしまいましたが復刻して欲しいバイクを多く抱えるメーカーとしては、カワサキが第1位と言えるでしょう。



映画『キリン POINT OF NO-RETURN!』大ヒット公開中！
© 東本昌平 / インターフィルム / ミューズ・プランニング / 少年画報社

■乗っていてよかったと思った瞬間第1位は「渋滞が回避できたとき」

バイクに乗っていてよかったと思った瞬間(思うこと)を、教えてください。

1位	渋滞が回避できた時
2位	風の気持ちよさを感じた時
3位	スピード感が気持ちいい
4位	ツーリングをしている時
5位	ストレス解消になる

6位	(車と比べて)コストが少ない
7位	行動範囲が広がった時
8位	バイクとの一体感を感じた時
9位	景色を楽しめる
10位	(移動の場面で)自由度が高いと感じた時

ライダーならではの様々な回答がランクインしました。

中でも「渋滞が回避できたとき」が全体の約6割を占め、第1位に。第2位に選ばれた「風の気持ちよさを感じたとき」、第3位の「スピード感が気持ちいい」と同様に、まさしくライダーだからこそ感じられる魅力の一つといえるでしょう。

バイク王 バイクライフ研究所

■ライダーが持つライダーのイメージ第 1 位は「かっこいい」！ 第 2 位は「自由人」！

バイクに乗っている人のイメージを教えてください。

1位	かっこいい	6位	ワイルド
2位	自由人	7位	硬派
3位	アクティブ	8位	クール
4位	革ジャン	9位	お洒落
5位	こだわり派	10位	アウトロー

ライダー自らが考える、ライダーに対するイメージ調査では、「かっこいい」という回答が男女ともに第 1 位に選ばれました。また、第 2 位の「自由人」、第 4 位の「革ジャン」はまさしく“ライダー”に対するイメージの代表格とも言えるでしょう。

また、特筆すべき回答として、7位の「硬派」は、男性が 93 人(18.6%)回答したことに対し、女性は 8 人(8.0%)の回答にとどまりました。

■バイクに乗りたいと思ったきっかけ第 1 位は「行動範囲を広げるため」

バイクに乗りたいと思ったきっかけを教えてください

1位	行動範囲を広げるため	6位	かっこいいバイク乗りを見たから
2位	乗りたいバイクがあったから	7位	一番低年齢で乗れる乗り物だから
3位	かっこいいと思ったから	8位	機械に興味があったから
4位	(車と比較して)利便性を考えて	9位	趣味がほしかったから
5位	(車と比較して)金銭的な面で	10位	友人に影響されて

ライダーがライダーになるきっかけ第 1 位は、「行動範囲を広げるため」でした。第 2 位は「乗りたいバイクがあったから」、第 3 位には「かっこいいと思ったから」が選ばれました。

少数派意見では、「映画のイージーライダーを観たから」と回答したユーザーが 7 名いました。

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『オートバイライフの総合プランナー』をビジョンに掲げるアイケイコーポレーションが、オートバイライフの楽しさやオートバイ市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011 年 8 月に発足した情報発信組織です。

昨今、オートバイ業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のオートバイ離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーの方やマスメディアに向け、積極的に発信することで、オートバイ業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史